

平成31年度 大月市学校教育の指針

国の「第3期教育振興基本計画」（以下国基本計画）においては、目指すべき子ども像として、「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成」を掲げ、そのための基本的な方針として「夢と希望を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」「社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」ことを示しました。本市教育委員会においては、この国基本計画と平成31年度山梨県学校教育指導重点及び本市が平成27年6月に策定した「大月市の教育の大綱（大月市第2期教育振興基本計画）」を踏まえ、下記に掲げる事項を今年度の学校教育指針としました。

つきましては、校長のリーダーシップとマネジメントの下、学校教育のさらなる充実と発展にご尽力をお願いします。

1 ふるさと教育の推進

- ①人とのつながりを通して学ぶ教育活動を推進し、ふるさとに誇りをもちグローバル社会の中で多様な人々と協働できる人間性豊かな子どもの育成に努める。
- ②地域の歴史・伝統・文化・産業・自然等について、地域の方々とのふれあいを通して学び、郷土を大切に作る心の育成に努める。
- ③市独自の教育施策を通して、望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けたり、確かな職業観を育てたりする中で、夢と希望をもった世界に羽ばたく子どもの育成に努める。
- ④地域社会と連携したボランティア活動や地域活動に参加し、広い視野と豊かな人間性や社会性をもつ子どもの育成に努める。

2 生きる力を育む適切な教育課程の編成と実施

- ①新学習指導要領の趣旨や内容に基づいた適切な教育課程を編成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める。
- ②幼保小中高の連携を推進し、情報を共有するとともに、教育課程・指導内容・指導方法について組織的に研究し、子どもの生活力・学力の育成に努める。
- ③小学校外国語科やICT教育について、組織的・実践的に研究し、よりよい授業づくりに努める。
- ④キャリア教育においては、地域の人材力を活用し、体験活動を通して、確かな職業観や主体的に進路を選択する能力や態度の育成に努める。

3 確かな学力と自立を育む指導

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向け授業改善に取り組むとともに、考える力を高める「やまなしスタンダード」の実践を進め、教師一人一人の指導力及び学校全体の教育力向上を図り、確かな学力の定着に努める。
- ②子どもが自ら目標をもち学習に取り組めるように、学校と保護者が連携するとともに、小中間

指針

でも共通理解を図る中で、家庭学習の定着と充実に努める。

- ③特別支援教育の充実に向け、教員間で情報を共有し、必要な知識や配慮等について研修等を通して学び、個に応じた適切な支援に努める。
- ④学力学習状況調査の結果を分析考察し、子どもの実態把握に努め、個に応じた適切な支援とともに、日常の授業改善に結びつけ、さらなる学力の育成に努める。

4 豊かな人間性を育む心の育成の推進

- ①子どもが安心できる居場所づくりや、望ましい集団づくりを進め、いじめや不登校、暴力行為等のない楽しい学校生活の実現に努める。
- ②子ども、学校及び地域の実態を踏まえ、学校として育てようとする子どもの姿を明らかにし、「道徳」をはじめ全教育活動を通して、豊かな人間性の育成に努める。
- ③幼保小中高の連携を進め、子どもたちの情報を共有し、切れ目のない支援を通して、小1プロブレムや中1ギャップ等の学校不適応の解消に努める。
- ④保護者と連携し、あらゆる機会を通して、情報モラル教育を推進し、インターネットに関連するトラブルやいじめ・不登校等の未然防止に努める
- ⑤欠席が続いている児童生徒への対応を組織的に行い、不登校や虐待等の未然防止に努める。
- ⑥やまびこ支援学校との交流等、校種を超えた連携の機会を設け、多様性を認め合う相互理解と共育・共生の心の育成に努める。

5 健康・安全に関する資質や能力の育成

- ①学校教育活動全体を通じて、自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図るとともに、食育並びに心身の健康の保持増進及び安全に関する指導を関連させながら、運動習慣、朝食摂取、十分な睡眠等、望ましい生活習慣の形成に努める。
- ②子どもたちの健康・体力について適切に実態を把握し、学校全体で課題を共有し、運動の日常化と体力の向上を図るため、運動時間の確保に努める。
- ③学校教育活動を通して、健康教育の着実な推進を図るとともに、健康・安全（生活・交通・災害・その他世界情勢等）及び食に関する教育の充実に努める。
- ④情報化社会の急速な進展の中で、いじめやネット犯罪の危険やネット依存による生活崩壊も危惧される中、学校・家庭・地域が連携して情報教育の推進に努める。

6 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

- ①学校評価の結果及び改善策を、PTA 総会、学校だより、学校 HP 等で、家庭や地域に公表し PDCA サイクルで適切な評価と改善に努める。
- ②初狩小学校の学校運営協議会の成果を共有し、地域に開かれた学校づくりの推進に努める。
- ③地域や保護者の理解と協力を広げ、教員の多忙化改善に取り組む中で、子どもと向き合う時間の創出に努める。